

寸言

エーティー技研株式会社
代表取締役
榊原 聖



がんばれ中小零細企業

皆様、はじめましてエーティー技研の榊原聖（さかきばらさとし）と申します。

エーティー技研株式会社は、先代（故・榊原 昭義）がある志を抱き、多くの方のご支援を得て平成3年（1990）に創業いたしました。私はその2代目になります。

弊社は、正社員現在49名（グループ全体で100名前後）の典型的な中小企業です。

弊社の日本航空宇宙工業会への直接のきっかけは、ANAの整備本部技術部技術開発室首席部員 渡辺 進さんとの「出会い」でした。渡辺首席は航空機軽量化に尽力されてこられました。その関係で弊社もANAのA320型機に搭載される炭素繊維を材料としたシートクッションの製造のお手伝いをさせていただきました。しかし、A320型機が退役の対象になっていたこともあり、シートクッションの製造の継続が見込まれないため、今後弊社としてどのように航空業界との関係を継続させていけばよいかご相談させていただいたところ、日本航空宇宙工業会の話を知り入会させていただいた次第です。

弊社は主に断熱材を扱っています。

断熱材の用途は多種多様でありながら、同じ用途でも様々な素材が採用されています。

2005年アスベスト被害が顕著に出て以来、断熱材においても安全性、環境保護・保全、リサイクルが叫ばれるようになりました。

そのような環境の下、私たちはどこまでも地球にやさしくあらゆるレギュレーションに沿って、断熱材を提案提供して参りたいと考えており、グラスウール、ロックウール、カーボン繊維、植物繊維などを研究、製造、加工し、ビル設備、戸建住宅、鉄道車両、航空機にご採用いただいております。

最近弊社が力を入れておりますことは、天然素材を使った断熱材の開発で、CO₂の削減やリサイクルにも貢献出来ると考えております。

最後になりますが、私どもが航空宇宙業界で貢献できるものとしては、航空機並びに宇宙関連の空調システムを柱にあらゆる装備品に関するシステムインテグレーションのお手伝いが出来ればと考えております。また、断熱材の枠にとらわれることなく、あらゆるサプライチェーンの枠組みの中で、皆様と共に世界に誇れる純国産型飛行機や宇宙機器の夢を追い続けたいと考える所存であります。

中小零細企業の皆様力を合わせて頑張っていきましょう。